

## 震災復興・伝承みやぎルートサイクリングマップ(案)について

サイクリストへの情報発信として、サイクリングマップ(案)を作成した。  
今後、関係部署等と調整を行い、より使い易いマップに修正を行う。



# 震災復興・伝承みやぎルート サイクリングマップ

(案)

資料4

●サイクリストに優しい宿泊施設

No.	宿泊施設名
①	中正旅館
②	わたり温泉 鳥の海
③	名取市サイクルスポーツセンター
④	ホテルキャッスルプラザ多賀城
⑤	ホテル浦嶋荘
⑥	ビジネスホテル・メトロ
⑦	KIBOTCHA (キボッチャ)
⑧	パリュー・ザ・ホテル石巻
⑨	ホテルルートイン石巻河南インター
⑩	Active Life -YADO-
⑪	ホテル・エルファロ
⑫	まなびの里 いりやど
⑬	ペンションヴィラ・ブチろく
⑭	コテージ キクタ
⑮	旅館 海光館
⑯	網元の宿 和風ホテル磯村
⑰	ラ・ジェント・イン 気仙沼
⑱	SHICHI NO HOTEL (シチノホテル)

●ゲートウェイ (兼サイクルステーション)

No.	施設名
1	やまもと夢いちごの郷
2	仙台空港旅客ターミナルビル
3	石巻市かわまち交流センター (かわべい)
4	気仙沼市まち・ひと・しごと交流プラザ (PIER7)

●サイクリストに優しい自転車店

No.	店舗名
1	松木輪業商会
2	サイクルビットたかはし(高橋自転車店)
3	名取市サイクルスポーツセンター
4	イオンバイク仙台長町店
5	サイクルハウスサイ
6	セオサイクル 仙台宮城野店
7	ing
8	菅原輪業商会
9	クマガイサイクル
10	まちの自転車屋さん エンドーしんりん
11	丸武自転車店
12	ハマサカサイクル 上杉本店
13	サイクルストア ファースト
14	エコチャリ 仙台春日町店
15	イオンバイク 仙台中山店
16	バイシクルショップ BRENDA(ブレンダ)仙台泉店
17	ダイシャリン 泉店
18	イオンバイク市名本店
19	サイクルベースあさひ 仙台松森店
20	半沢サイクルショップ
21	(株)自転車の山口屋
22	ベルエキップ

●サイクルステーション

No.	施設名
2	鳥の海ふれあい市場
3	レンタルサイクル「フチャリ」
5	名取市サイクルスポーツセンター
6	かわまちでらす開上
7	七ヶ浜 うみの駅 松島湾海鮮市場 七のや
9	みなとオアシス・マリングート塩釜
9	宮城県 松島羅宮
10	野蒜地域交流センター
11	KIBOTCHA (キボッチャ)
12	奥松島イートプラザ (東松島市奥松島観光物産交流センター)
14	石巻・川のビジターセンター
15	女川町たびの情報館「ぶらっと」
16	道の駅上品の郷
17	道の駅津山もくもくランド
18	視上の里おがつ
19	南三陸・海のビジターセンター
20	さんさん商店街
21	ハマレ歌津
22	道の駅大谷海岸
24	気仙沼大島ウエルカム・ターミナル
25	気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館

●主な震災伝承施設

No.	店舗名
1	(仮) 慰霊碑大地の塔 (比山下駅)
2	巨理町立 郷土資料館
3	鳥の海公園 鎮魂の碑
4	阿武隈川寺島堤防の説明看板
5	しめぬまつじ村
6	岩沼市 千寿希望の石交流センター
7	震災伝承看板 「パン」展中投入 仙台空港を早期「再生」
8	下郷団地校
9	津波復興祈念資料館 陸上の記憶
10	名取市震災メモリアル公園
11	津波石巻 (震災記念)
12	(仮) 河川防災ステーション
13	藤巻地区地域モニュメント
14	震災の伝承看板 (海岸公園併土地区)
15	(仮) 慰霊の塔
16	鎮魂のモニュメント「寛政記憶の鐘」
17	地域の歴史モニュメント「荒浜の歴史」
18	震災遺構 仙台市立荒浜小学校
19	新浜みんなの家
20	新浜地区 震災地域モニュメント
21	せんだいの11メモリアル交流館
22	南栗生地区 震災地域モニュメント
23	中野地区地域モニュメント
24	震災伝承看板 「支那物資輸送を確保した航路路間 (仙台塩釜港)」
25	(仮) 沖の石
26	多賀城市 津波波高標識
27	(仮) 末の松山
28	多賀城市 東日本大震災モニュメント
29	3.11東日本大震災伝承板 - 霞浜海岸防波堤
30	東松島市 東日本大震災復興祈念公園
31	3.11東日本大震災伝承板 - 長浜海岸防波堤
32	東日本大震災メモリアル南浜 つかなく屋
34	旧長春市立南小学校
35	震災伝承スペースつなぐ館
36	石巻ニューゼ
37	(仮) 鎮魂祈願犠牲者慰霊碑
38	旧石巻市立大川小学校
39	石巻市北地区 慰霊碑及びモニュメント
40	昭和8年3月3日 大震災記念碑 (立神)
41	昭和8年3月3日 大震災記念碑 (小浜)
42	昭和8年3月3日 大震災記念碑 (小浜)
43	昭和8年3月3日 大震災記念碑 (大浜)
44	高野会館
45	岩井精蔵の松
46	気仙沼市 東日本大震災遺構・伝承館
47	リアス・アーク美術館
48	「東日本大震災の記録と津波の災害史」常設展
49	命のらせん階段 (旧阿部家住宅)



■ **サイクルステーション**  
 ルート上の一定間隔でサイクリストがいつでも休憩できる施設です (現在は、整備予定)  
 トイレの利用/空気入れの貸し出し/水分補給/休憩スペース/設備/サイクルラック/サイクリングに必要な情報発信等

■ **ゲートウェイ**  
 ルート上の起終点の施設として、利用者が快適で安心して利用できるように機能を備えています (現在は、整備予定)  
 シェアサイクル (レンタサイクル) の利用/サイクリングに必要な情報発信/必要な物品や食事の販売/手荷物用ロッカー・着替えスペースの整備

■ **震災伝承施設**  
 東日本大震災から得られた実情と教訓を伝承する施設です。事実や記憶、経験や教訓を伝えることで新たにできる教訓・伝承の道「3.11伝承ロード」を構成する施設です。  
 地図上には第3分類 (案内員の配置や語り部活動等、来訪者の理解しやすさに配慮している施設) のみ掲載しています。詳しくは下記をご覧ください。  
<http://www.thr.mlit.go.jp/sinsaidensyou/sietsu/facility/index.html#miyagi>

この地図は、国土地理院発行の電子地形図を使用しています。





# 震災復興・伝承みやぎルートサイクリングマップ

「**震災復興・伝承みやぎルート**」は、**宮城県沿岸部を南北に縦断し、沿岸地域における漁業・海産物等の魅力を伝え、東日本大震災の遺構や伝承施設を巡るサイクリングルート**です。

南は山元町から北は気仙沼市まで、全長約280kmの基幹ルートがあり、主要な交通機関や景勝地を結ぶアクセスルートが約90kmあります。震災伝承施設や沿岸の魅力を伝える観光スポットのほか、食材王国みやぎの多様な食を楽しむことができます。

ルート上および周辺には、サイクリングをより安全・快適に楽しむことができるように、旅の起終点として必要な機能を備えた「ゲートウェイ」や、休憩に使える「サイクルステーション」、サイクリストに優しい「宿泊施設」や「自転車店」がお出迎えています。



太平洋沿いの宮城県最南端である山元町を起点に、名取サイクルスポーツセンターを目指すコースです。ずっと平坦なコースですので、サイクリング初心者にも優しいコースとなっています。名取熊野三社や伊達成実を祖とする亘理伊達家などの歴史や、いちご狩りなどのグルメも堪能できます。

**震災遺構中浜小学校**  
開校以来、地域とともに歩み、愛されてきた中浜小学校。平成23年(2011年)3月11日、屋上に避難した児童と教職員、保護者ら90人の命を守り抜いた校舎は、津波や高潮への対策が事前に施されたものでした。  
中浜小学校は内陸の坂元小学校と統合され、平成25年(2013年)に閉校となりましたが、山元町では宮城県南部に残る唯一の被災建築物である校舎の保存・活用を決定。大津波の痕跡をできる限り残したまま整備し、震災の教訓を風化させず、災害に対する備え、意識の大切さを伝承する震災遺構として公開しています。

**やまもと夢いちごの郷**  
東北有数の生産量を誇る「いちごふるさと『山元町』」のイチゴハウスから直送で提供する「完熟いちご」や、温暖な気候を活かし樹上で熟度を高めて収穫する甘くて美味しい『蜜入り』リngo、『ホッキ貝』、『シャインマスカット』をはじめ、地元の農家が丹精込めて栽培した旬の野菜や果物、新鮮な魚介類、地場産品を使った加工品など、豊富な品揃えで出迎えてくれます。みやぎルートの出発点に。

**仙台国際空港**  
県内を走る3つの高速道路、JR東北本線へアクセスする鉄道などの立地条件を活かし、活発な経済活動や国際拠点として発展を続けているのが「仙台空港」です。平成9年に完成した新旅客ターミナルは、波打つような大屋根と陽光きらめく全面ガラス張りの出発ラウンジです。ダイナミックで未来的な外観に、ハートフルな設備を内包し、人々を温かく迎える東北最大の国際空港は、まさに国際化時代のシンボル。飛行機のご利用だけでなく、展望デッキやエアポートミュージアム・飲食店・お土産店がたくさんありますので、観光や遊び・グルメなどなど休日のスポットとしてお勧めです。

**荒浜にぎわい回廊商店街**  
震災で被災した商業店舗が集まったアーケード付きの商店街。飲食店や海産物の販売店、サーフショップなどがあります。  
毎月第1・第3日曜日には、地元荒浜で水揚げされた海産物の販売イベントが開かれ、海の幸を堪能できます。



仙台空港近くの名取サイクルスポーツセンターを起点に、日本三景の一つ松島を目指すコースです。仙台亘理自転車道線(仙台湾自転車道)などの平坦な区間を抜けるとセヶ浜の起伏に富んだコースを楽しむことができます。そして、自転車に乗りながら見る松島は、これまでとはまた違った絶景を楽しむことができるでしょう。

**名取市サイクルスポーツセンター**  
1周約4キロのサイクリングロードのほか、東京オリンピック新種目に採用されたスケートボード場や3×3バスケットコートにフットサル場、子ども向け遊具などを整備しています。  
太平洋・広浦湾を一望する絶景ビューの名取閑上温泉「輪りんの宿」は「サイクリストにやさしい宿」をモットーに自分の自転車を持ち込める客室を完備、最大100名が宿泊可能で合宿等にも便利です。天然温泉の日帰り入浴も可能となっており、ハンバーグの人気店「HACHI」のレストランで食事もお楽しみいただけます。

**震災遺構 仙台市立荒浜小学校**  
来館者に防災・減災の意識を高めていただくを目的に、2011年(平成23年)3月11日の東日本大震災で被災した仙台市立荒浜小学校の校舎を、震災遺構として保存・整備した施設です。被災の痕跡を鮮明に残す校舎と、被災直後の様子を示す展示等により、来館者に津波の威力や脅威を実感できる場として公開しています。

**みなとオアシス・マリンゲート塩釜**  
「マリンゲート塩釜」は、宮城県の仙台塩釜港(塩釜港区)の「塩釜港旅客ターミナル」の愛称です。  
塩竈は日本三景松島の海の玄関口であり、塩竈と松島を結ぶ観光遊覧船や、塩竈の離島である、浦戸諸島(桂島・野々島・寒風沢島・朴島)とを結ぶ市営汽船の発着所となっています。  
館内には、塩竈や近隣地域の特産品や焼きたての笹かまぼこ等を取り扱うお土産店や、地元の美味しい料理を食べさせてくれるシーフードレストラン、中国料理、寿司、海鮮丼、パスタ等の飲食店があります。

**日本三景松島**  
伊達政宗が再興させた国宝瑞巖寺をはじめ、伊達家ゆかりの文化財が数多く点在する松島町。桃山様式の粋を尽くした仏閣や歴史的建造物が今でも残り、町を歩けばあちこちにその息吹が。その時代は古く、平安時代より歌枕として多くの歌に詠まれ、俳聖・松尾芭蕉の憧れの地でもありました。「おくのほそ道」で紹介されて以来、松島の名は全国に広がっています。

## 震災復興・伝承みやぎルート(松島～石巻)変化に富んだ面白コース



日本三景の一つ松島(松島海岸駅)を起点に、石巻市街地を目指すコースです。途中で立ち寄る奥松島(宮戸島)では、日本三大溪のひとつ嵯峨溪に代表される荒々しい島の景観と穏やかな砂浜を満喫することができます。奥松島自転車道(石巻松島自転車道線)を通り、石/森萬画館やマンガの主人公たちが出迎える石巻市街を目指します。

**東松島震災復興祈念公園 震災復興伝承館**  
東松島市東日本大震災復興祈念公園は、東日本大震災の「記憶」を風化させない施設として、慰霊碑が建つ広場、旧野蒜駅を改修した震災復興伝承館、震災遺構として旧野蒜駅のプラットホームなどを含んだ公園となっています。震災復興伝承館では、写真パネルによる震災からの復興の歩みや、震災当時の映像や経験談を視聴することができます。

**石巻市かわまち交流センター(かわべい)**  
市民や観光客の皆さんが気軽に交流できる施設です。1階では、石巻の観光拠点として、観光ルートの紹介や地域の周遊を促す総合的な観光案内を行います。  
隣接するいしのまき元気いちばでは、石巻市、食品加工、地元料理店、地元企業が一同に集まり、旬の鮮魚、水産加工品から、農産品、地元の物産品、三陸地域や震災復興応援地域の特産品などを豊富に取り揃えています。2階には約140席のフードコートもあり、石巻の旬をその場で味わえます。

**震災伝承スペースつなぐ館・石巻ニューゼ**  
つなぐ館は、東石巻市中部で東日本大震災の記憶を未来へ「つなぐ」民間の情報発信ステーションとして平成26年3月にオープン。地域団体との連携による被災概要展示、メディアが伝えた311のパネル展示のほか、ボランティアやNPOの活動連携記録、住民による防災の取り組みなどを紹介。  
「震災の語り部」、「石巻津波伝承AR」アプリを使った「防災まちあるき」(平成26年度地方創生に資する「地域情報化大賞」特別賞)などの震災学習プログラムの拠点としても活用されています。英語での語り部や「防災まちあるき」、中国語での案内も提供可能。  
つなぐ館の隣りにある石巻ニューゼでは、東日本震災直後の2011年3月12日～17日に、被災した市民に地域情報を伝えるため、石巻日日新聞社が避難所に張り出した手書きの壁新聞(合計7枚)を展示。そのほか、当時の地域の写真などを展示。これを通して災害時の情報のあり方や防災・減災への取り組みなどを伝えています。

## 震災復興・伝承みやぎルート(石巻～南三陸)リアス式三陸海岸挑戦コース



JR仙石線の終着駅である石巻駅を起点に、石巻市、女川町、南三陸町をめぐるコースです。三陸海岸の最南端である石巻市・万石浦を通り、リアス式海岸特有の景観と、入り組んだ海岸沿いのアップダウンを満喫できるコースとなっています。変化に富んだ海岸沿いを抜け、復興してにぎわいをみせる「南三陸さんさん商店街」を目指します。

**女川町たびの情報館ぶらっと**  
「たびの情報館ぶらっと」は、パンフレットや町内情報などを集めにぶらっと立ち寄れるスペースとなっています。  
女川町の情報ははじめ近隣市町村の観光情報などを取りそろえています。休憩スペースとしても利用できますので、商店街で買ったお弁当などを持ち込んで中で食べたりすることも可能です。  
1日3,000円、1時間500円でロードバイク、クロスバイクのレンタルを行っています。女川で借りて石巻で返却も出来ます。(別途料金)

**硯上の里おがつ**  
「硯上の里おがつ」は、豊かな海を見渡せる雄勝地区中心部の高台に、観光・商業の拠点としてオープンした施設です。  
複数の施設からなり、観光物産交流館「おがつ・たなごや」では、雄勝地域の特産品をメインとした物産販売や、お寿司屋やカフェでお食事が楽しめます。隣接する雄勝硯伝産業会館では、全国でも珍しい硯の展示をご覧いただけます。硯石を使用したお土産も販売しています。

**高野会館**  
震災の教訓を後世に伝えるために南三陸ホテル観光が毎日運航している「語り部バス」の運行ルートにある震災遺構施設です。当時の高野会館のスタッフ等の判断により、327名の高齢者や近隣の人と犬2匹の尊い命が助かりました。当時の地上レベルや津波浸水高を実感でき、屋上からは南三陸町の復興状況を一望できます。これまで皇室関係者、官僚をはじめ国内外から35万人以上の人が来館し自然災害の脅威や防災減災の大切さを伝承しています。尚アスベスト保有建材は全て撤去済みです。

**南三陸さんさん商店街**  
「サンサンと輝く太陽のように、笑顔とパワーに満ちた南三陸の商店街にしたい」というコンセプトのもと、2012年2月25日に仮設商店街としてオープンした「さんさん商店街」ですが、震災より5年が経過し、2017年3月3日(サンサン)に本設オープンいたしました。2014年には経済産業省の「がんばる商店街30選」にも選出されました。かつての町の中心地に震災後8.3mほどかさ上げされた高台の造成地に、飲食、生活関連、鮮魚店、菓子店、理美容など計28店舗で構成されています。

## 震災復興・伝承みやぎルート(南三陸～気仙沼)気仙沼さ来てけらいんコース



JR気仙沼線(BRT)志津川駅(南三陸さんさん商店街そば)を起点に、宮城県最北端のまち気仙沼市を目指すルートです。気仙沼の中心市街地を抜けてちょっと足を延ばせば、美しい自然に囲まれ「緑の真珠」と称される気仙沼大島の景色を楽しむことができます。北部にそびえる海拔235mの亀山からは全島が一望できます。

**南三陸ハマレ歌津**  
宮城県南三陸町歌津地区の海辺の商業施設。海を一望でき、木の温もりを感じる建物です。飲食店、カフェ、菓子、軽食、お土産、お魚、野菜、お酒、酒屋&カラオケ、食料品、衣料品、釣具、電器等を取り揃える店舗が立ち並び、アットホームな雰囲気です。駐車場、トイレ、自由に座れるベンチやテーブルがあり、ふらっと立ち寄りゆったりとした時間を過ごせます。

**気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館**  
震災遺構(気仙沼向洋高校旧校舎等)は、被災直後の姿を留めたまま保存整備したものであり、内部も観覧することができます。震災伝承館では、映像や写真パネルにより被災の様子を伝え、復旧・復興についてはデジタルサイネージを活用して紹介しています。将来にわたって東日本大震災の記憶と教訓を伝え、警鐘を鳴らし続ける「生きた証」である震災遺構と、防災・減災教育の拠点として整備された震災伝承館は一体的に観覧することができ、また、語り部ガイドや防災・減災体験プログラムも実施することから、訪れた人々の防災意識の向上に寄与する施設となっています。

**気仙沼市まち・ひと・しごと交流プラザ(PIER7)**  
東日本大震災により被災した「気仙沼市観光物産センター(エスポート)」及び「気仙沼市勤労青少年ホーム(サン・パル)」を合築再建した施設です。「気仙沼市まち・ひと・しごと交流プラザ」は市民一人一人が主体的にまちを創造していく起点となるエリアとして愛称を「創(ウマレル)とし、隣接するウォーターフロント(商業)施設は、観光客のゲートをイメージして愛称を「迎(ムカエル)」としています。

**気仙沼大島ウェルカム・ターミナル**  
美しい自然に囲まれ「緑の真珠」と称される気仙沼大島、その玄関口に位置する施設で、旬の海産物や農産物が並ぶ販売スペースや、浦の浜湾を一望できるテラス席などを備えています。  
隣には飲食店や鮮魚店など、5店舗が集まる民間商業施設「野杜海(のどか)」では、すべてのお店でコンセプトにしているのが「地産地消」。魚介はもちろんのこと、野菜や特産の柚子など、地元食材を生かし、食業(食を通じた生業)を営むことで、地域の持続的な活性化に努めています。

## ちょっと寄り道まだまだある宮城の見どころ

**わたり温泉**  
荒浜沿岸部にある平成20年にオープンした天然温泉で、展望浴場から眺める太平洋が絶景です。弱アルカリ性のトロっとした泉質も特徴です。  
【温泉効能】外傷・打撲・骨折・病後回復・神経痛等

**沖の石**  
末の松山から南へ伸びる道を下ると奇石が連なる池が見えてきます。住宅地の中に取り残されたこの池が、歌枕の沖の井(沖の石)、『千載和歌集』にある二学院讃歌の歌は有名で、作者は後に「沖の石の讃歌」と呼ばれたそうです。

**かわまちてらす閣上**  
生まれ変わった閣上のまちを照らし、川辺の憩いのテラスとなるよう願いが込められた、閣上の新しい商業施設。  
2019年4月25日にグランドオープンしました。木造平屋建ての3棟には飲食店や海産物、スイーツのお店など25店舗が軒を連ねます。閣上港にほど近く、名取川沿いのオープンテラスでは、オーシャンビューを楽しみながら水辺の心地よい風の中で食べ歩きもおすすめです。

**瑞巖寺【国宝】**  
慶長5年(1600)仙台に治府を定めた伊達政宗が造営したお寺。梅村彦左衛門家次一家や、刑部(鶴)左衛門国次など当時の名工の手による。  
本堂の装飾はきらびやかで美しい。国宝に指定されています。

**石ノ森萬画館**  
「仮面ライダー」や「サイボーグ009」などで知られるマンガ家・石ノ森章太郎のマンガミュージアム。貴重な原画はもちろん、作品の世界を立体的に再現した展示やアトラクション、オリジナルアニメの上映などを通し石ノ森ワールドを満喫できます。

**宮城県慶長使節船ミュージアム**  
今から400年前の1613年(慶長18)、仙台藩主伊達政宗の命を受け、現石巻市からヨーロッパに渡った支倉常長ら慶長遣欧使節。当ミュージアムでは一行を乗せ、太平洋を2往復したガレオン船「サン・ファン・パウティスタ」の復元船を係留展示。展示やVR映像を通して使節の偉業を伝えています。また、隣接するサン・ファンパークは毎春、復元船の進水日を祝う「サン・ファン祭り」などのイベントが開催されるなど、石巻市民の憩いの場としても親しまれている。現在、復元船については老朽化により一部の公開となっています。

**神割崎**  
南三陸屈指の景勝地で、二つに割れた奇岩の間から荒波がしぶきを上げながら押し寄せる様子は迫力満点。  
全国の「白砂青松百選」に選ばれ、例年2月中旬と10月下旬には岩の間から登る日の出を望むことができます。岩場にはニッコウキスゲやハマギクなどが多くみられ、周辺には松林に囲まれた遊歩道があり、森林浴をしながら海岸風景を楽しむこともできます。

**岩井崎・潮吹岩**  
岩井崎は長い年月をかけて海水により浸食された石灰岩地質になっており、岬の先端には、海蝕洞の岩肌が打ち寄せるたびに潮を吹き上げる潮吹岩があります。干潮で波が荒いときにはダイナミックに潮を吹き上げ、訪れる人々に自然の営みの不思議さを感じさせます。

**亀山**  
大島の北側に位置する標高235mの山です。山頂の展望台からは、気仙沼市内や、岩井崎方面をはじめリアス海岸の大パノラマが広がり、天気の良い日は金華山まで望むことができます。また、夜には、気仙沼市街の夜景や漁火そして満天の星空を見ることが出来ます。レストハウスや四阿(あずまや)といった施設も整備されており、雄大な景色を眺めながらゆったりとした時間を過ごせます。

## みやぎルート安全安心走行のための10の宣言

- 交通ルールを厳守します
- 歩行者の安全な通行を守り、歩道通行時にはいったん降りて押し歩きます
- 原則、車道の左端を走行します
- 一時停止時には、止まって、足を路面に着けて、安全確認してからスタートします
- 夜間やトンネルではヘッドライトとテールランプを点灯します
- 並走やスマホのながら走行はしません
- 自転車保険(損害賠償責任保険)に加入します
- ハンドサインで意思表示します
- ヘルメットをかぶり、目立つ服装で走ります
- ルートの路面に異常があれば、サイクルステーションに連絡します

## アクセス

県の中央を走る東北自動車道、東北唯一の特定重要港湾である仙台塩釜港、国内外に定期便が運航されている仙台空港と陸海空のアクセスが完備されているほか、東北新幹線で仙台-東京間が約1時間半(最短)で結ばれているなど、さまざまな交通手段でアクセスすることができます。

●レンタサイクル

●緊急連絡先

